

芝山町周辺は、県内でも有数の古墳の密集地であり埴輪の宝庫として知られています。芝山町立芝山古墳・はにわ博物館（以下、「はにわ博物館」という）は、昭和63年の開館以来「房総の古墳と埴輪」をテーマとして活動してきました。このたび、芝山仁王尊観音教寺（以下、「観音教寺」という）が所蔵している埴輪などについて、はにわ博物館が寄託を受けたことに伴い、常設展示室をリニューアルしました。

展示室には、17基の古墳で構成される国指定史跡・芝山古墳群（横芝光町中台所在）の殿塚・姫塚をはじめ、この地域で出土した人物や動物埴輪、副葬品などが数多く展示されています。

その中でも特に、姫塚から出土した馬子と馬形、武人、巫女、胡座する男とひざまづく男の埴輪群などは、迫力があり精巧で造形美にあふれ当時の葬列の様子を再現する貴重な展示資料となっています。

※「寄託」とは、資料などの保存や管理を博物館に任せること。



Photo/姫塚出土「葬列の埴輪」

「現代に映し出された古の景色」

精巧な造形美が伝える 古代の記憶とその物語

